

# 1 横浜戦災者慰霊碑、合掌、戦災遭難者諸霊供養塔



## 基本情報

所 在：三ツ沢墓地  
 住 所：神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢上町20-6  
 (市営地下鉄 三ツ沢下町駅 徒歩10分)  
 建 立 者：【横浜戦災者慰霊碑】横浜市 【合掌】横浜戦災遺族会 【戦災遭難者諸霊供養塔】不明  
 建 立 年：【横浜戦災者慰霊碑】昭和25年3月【合掌】昭和47年5月29日【戦災遭難者諸霊供養塔】昭和22年5月  
 連 絡 先：横浜市 健康福祉局 健康安全部 環境施設課 045-671-2450 (直通)

## 碑 文

### 【横浜戦災者慰霊碑・表】

横浜戦災者慰霊碑

横浜市

### 【横浜戦災者慰霊碑・裏】

昭和二十五年三月建之

### 【合掌・表】

合掌 横浜戦災遺族会

昭和四十七年五月二十九日建

### 【戦災遭難者諸霊供養塔・台座】

為戦災遭難者諸霊

供養塔

昭和二十二年三回忌五月建之

## 2 黄金地藏尊



### 基本情報

所 在：普門院  
 住 所：神奈川県横浜市南区西中町1-2  
 (京急電鉄 黄金町駅 徒歩3分)  
 建 立 者：地元有志  
 建 立 年：不明(昭和27年か28年頃、普門寺に移築)  
 連 絡 先：普門院 045-231-6522

### 碑 文

なし

### 経 緯

昭和20年5月29日、横浜大空襲の際、近くに高射砲台があったためか焼夷弾が数多く落とされた。普門院にも助けを求めて多くの人が駆け込んできたが、火の回りが早く境内手前の階段で力尽きたものもいた。当時の住職も迫りくる炎の中、念仏を唱えながら絶命されたという。黄金町駅前には多くの遺体が運び込まれたため、終戦後、供養のため地藏尊が駅前に建立された。その後、駅前開発の際、普門院に移築された。毎年5月29日に法要が行われている。

普門院 ご住職の証言をもとに構成

3 戦災殉難供養塔



基本情報

所 在：持明院  
 住 所：神奈川県横浜市金沢区富岡東5-8-34  
 (京急電鉄 京急富岡駅 徒歩6分)  
 建 立 者：持明院  
 建 立 年：不明  
 連 絡 先：持明院 045-771-6977

碑 文

【表】

戦災殉難供養塔

昭和二十年六月十日

【裏】

施主 耕地廣瀬家

# 4 戦災供養地蔵



## 基本情報

所在：笹の原の子育て地蔵堂敷地内  
 住所：神奈川県川崎市高津区末長1-7  
 （東急電鉄 梶が谷駅 徒歩5分）  
 建立者：笹の原の子育て地蔵堂講中  
 建立年：昭和22年春  
 連絡先：個人のため記載せず

## 碑文

【台座・上表】

(故人名)

【台座・下表】

戦災供養



## 経緯

昭和20年4月4日の米軍の空襲により、旧末長134番地を中心に  
 6世帯17人が亡くなった。

その追悼のため、昭和22年春、近隣の地蔵堂の敷地内に戦災供養の  
 地蔵が建立された。

笹の原の子育て地蔵堂講中の方の証言をもとに構成